

新韓銀行、Red Hat で 統合バンキングのための グローバル・プラットフォームを構築



ソフトウェアとサービス

Red Hat® OpenShift®
Container Platform

Red Hat 3scale API Management

Red Hat Fuse

Red Hat コンサルティング

Red Hat トレーニング

パートナー

Goodmorning
Information Technology

新韓銀行は、世界中に所在する子会社すべてで顧客中心のサービスを提供するために、オープンバンキング・サービスの中央フロントエンド処理システムを構築することを決定しました。同行は Red Hat コンサルティングと連携し、Red Hat OpenShift と統合テクノロジーを使用することで、コンテナおよびマイクロサービスをベースとするサービス基盤を構築しました。このプラットフォームを DevOps がサポートする継続的インテグレーションおよびデリバリー (CI/CD) のアプローチと組み合わせることで、運用コストの削減と機密データ保護を実現しながら、新しいデジタルサービスをより迅速に公開できるようになりました。



金融サービス

従業員: **13,500** 名

メリット

- デジタルサービスの市場投入時間を 50% 以上短縮
- ハイブリッドクラウド向けに最適化された標準 CI/CD アプローチを確立
- コンテナとマイクロサービスの導入に関するエキスパートのサポートを獲得
- 開発および運用コストを 60% 削減

「当行のデジタル・トランスフォーメーションは、単なるテクノロジーのアップグレードではありませんでした。Red Hat コンサルティングと連携し、グローバルなコラボレーションによるアプローチとオープンソースのエクスペリエンスを強化しました。その結果、韓国のお客様だけでなく、当行が網羅する 20 のマーケットすべてのお客様に、より優れた利便性やその他のメリットをもたらすことができるようになりました」

新韓銀行
CIO 兼 ICT 部門統括
Si Hyeong Bae 氏



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

「サブスクリプションベースのモデルを通じて提供される Red Hat の包括的なソリューションによって、堅牢な API 管理機能がサポートする Linux ベースのコンテナプラットフォームを利用できます」

新韓銀行 ICT 運用部門責任者
Gwang Joong Kim 氏

顧客中心のデジタルバンキングサービスを提供

新韓銀行は韓国でも特に歴史が長く、規模も大きい銀行の 1 つです。1897 年に設立され、現在 900 を超える支店を有します。同行は、顧客中心の業務運営に注力し、韓国の金融セクターの技術変革を先導してきました。特に、顧客エクスペリエンス向上のための効率アップを目指しています。さらに、新韓銀行はグローバルソリューションを各地域に適応させるアプローチである [グローカリゼーション](#) 戦略に従い、20 カ国 163 支店を通じて国際的に事業を拡大しています。

「韓国では、金融市場の規制により、銀行はイノベーションよりも安定性を重視しています。それでも、各銀行の ICT チームは、急速に変化する要求に対応するためにアジャイルプロセスと DevOps プロセスを採用しなければなりません」と、新韓銀行の CIO および ICT 部門統括責任者、Si Hyeong Bae 氏は語ります。「当行は、サービスの信頼性を維持し、市場の規制に準拠しながら、新しいテクノロジー、クラウド・インフラストラクチャ、先進的な作業アプローチを導入する必要があります」

2017 年、新韓銀行はクラウド機能の強化を開始し、海外子会社のオンラインバンキングサービスをクラウドに移行しました。2018 年、新韓銀行は、金融市場における人工知能 (AI)、クラウド・コンピューティング、ブロックチェーンを使用したサービスの商用化の拡大に対応して、残りのインフラストラクチャをレガシーソリューションから、クラウド対応かつマイクロサービスベースのエンタープライズ・アーキテクチャと PaaS (Platform-as-a-Service) に移行することを決定しました。

韓国の銀行業界の規制では開発機能と運用機能の分離が求められるため、新韓銀行は、DevOps がサポートする継続的インテグレーションおよびデリバリー (CI/CD) システムに内部承認システムを含める必要があります。また、新しいフィンテック・ソリューションの活用も検討しました。

これらの機能を得るために、新韓銀行はアプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) 関連のサービスを迅速かつ効率的に拡張できるエンタープライズ規模のクラウドネイティブなフロントエンド処理システムを構築しようと考えました。

オープンソース・テクノロジーでグローバルなフロントエンド処理システムを構築

新韓銀行は、サポート付きのエンタープライズ・ソリューションを模索する前に、コミュニティ開発のプラットフォーム・テクノロジーを使用してパイロットプロジェクトを完了しました。しかし、コミュニティソフトウェアを使用したグローバルクラスタリングやその他の機能向けにセキュリティを確立するのは、オープンソースに不慣れた従業員にとって困難であることが判明しました。コミュニティが開発した PaaS をより広範に導入するには、多大な時間と投資が必要になります。

「DevOps 的な CI/CD プロセスの規制を満たし、新しいテクノロジーをサポートするだけでなく、堅牢なサポートとセキュリティを備えたクラウドネイティブ・サービスを実装するためのプラットフォームが必要でした」と、新韓銀行の ICT 運用部門責任者、Gwang Joong Kim 氏は語ります。

新韓銀行は新しいクラウドベースの CI/CD システムの基盤として、革新的なオープンソース・テクノロジーの安定性を向上させ、エキスパートの技術サポートを利用できる [Red Hat OpenShift Container Platform](#) をデプロイすることにしました。OpenShift Container Platform は、Kubernetes をベースとしており、ハイブリッドおよびマルチクラウドのインフラストラクチャ全体で、効率的かつ自動化された開発プロセスをサポートします。

「クラウド・インフラストラクチャの選択肢について検討したとき、成功の鍵はオープンソースの基盤だと考えました。オープンソース分野のリーダーである Red Hat と連携すれば、コア機能をより迅速に獲得できます」と Gwang Joong 氏は語ります。「サブスクリプションベースのモデルを通じて提供される Red Hat の包括的なソリューションによって、堅牢な API 管理機能に支えられた Linux ベースのコンテナ基盤を利用できます」

OpenShift 基盤をサポートするため、新韓銀行は Red Hat の統合 (インテグレーション) ソリューションもデプロイしました。分散型統合プラットフォームの Red Hat Fuse によって、開発チームと運用チームは、自分たちが望む環境で、接続されたソリューションを独立して開発できます。3scale API Management は、暗号

化と Proof Key for Code Exchange (PKCE) セキュリティを提供し、フィンテックパートナーが統合サービス向けの銀行の API にアクセスする場合に、企業と顧客の機密データおよびリソースを保護します。

先進的なプラットフォームおよびアプローチによるアジリティの向上とコスト削減

デジタルサービスの市場投入を 50% 以上迅速化

新韓銀行は、Red Hat OpenShift のグローバルクラスタリング機能を活用することで、海外子会社のワークロードを集中管理できるようになりました。3scale API Management と Red Hat Fuse を使用すると、国ごとにワークロードを処理できるため、コアとなるフロントエンド処理システムを各国のインフラストラクチャに適応させる必要がなくなります。

サードパーティのフィンテックパートナーとの開発もより効率的です。パートナーは、新韓銀行の Dev Portal サービスを通じて事前に統合仕様を確認できるため、契約交渉が迅速になります。[Open API 仕様](#)を使うと、統合テスト時間が短縮されるとともに、フロー制御、請求ポリシー、3scale API Management が管理する各パートナーの API ポリシーによって開発時間が短縮され、データとインフラストラクチャのセキュリティが向上します。

新韓銀行が検討した他のオープンバンキング SaaS (Software-as-a-Service) の選択肢と比較して、同行のグローバルフロントエンド処理システムは、デジタル決済サービスや子会社のデジタルバンキング・エクスペリエンスといった新しいサービスの市場投入時間を 50% 以上短縮しました。

ハイブリッドクラウド向けに最適化された CI/CD アプローチで標準化

韓国の電子金融取引の監督に関する規制では、銀行は、顧客向けサービスの配信前に承認段階を完了しなければなりません。これに準拠するために、新韓銀行は Red Hat コンサルティングと連携して、統合承認システムを備えた [DevOps](#) ベースの CI/CD プロセスを実装しました。このソリューションは、他のクラウドあるいは PaaS 環境へのサービス移行や、将来のビジネスニーズを満たすためのプラットフォームリソースの拡張に対応する、標準化された、規制に準拠する基盤を作成します。

「ハイブリッドクラウド向けに最適化された標準 CI/CD プロセスを確立し、適用したのは、韓国の銀行ではおそらく新韓銀行が初めてです。これも Red Hat コンサルティングのサポートのおかげです」と Si Hyoung 氏は語ります。

エキスパートのサポートにより、コンテナとマイクロサービスの導入を単純化

効果的なデジタルサービスは、金融サービス市場で競争力を維持するために重要です。新韓銀行は Red Hat コンサルティングと緊密に連携して、DevOps 組織構造を概略化し、CI/CD および自動化アプローチへの移行をサポートしました。Red Hat が新しいフロントエンド処理システムプラットフォームの作成を管理するため、新韓銀行のチームは、リスクを抑えながらマイクロサービスの実装に集中し、オープンソース活用の経験を得ることができました。

「プロジェクトの早い段階で Red Hat コンサルタントとのディスカバリー・セッションを行い、テクノロジーに関する疑問を解消し、エンタープライズ・オープンソースに関する知識を得て、Red Hat のアーキテクチャを当行の目標に合うように調整しました」と、Gwang Joong 氏は語ります。「また、プロジェクトを進めるにあたり、Red Hat のエンジニアと連携して、オープンソースのエコシステムについてさらに学びました」

グローバル開発や ICT のスタッフ数名が、OpenShift の開発と管理に関する [Red Hat トレーニング](#) コースを修了しました。また、Red Hat パートナーの Goodmorning Information Technology (GIT) とも連携して、ステップバイステップのサポートとペアプログラミングにより開発能力を強化しました。

「私はいつもスタッフに、失敗するかもしれないけど、新しい経験を試してみるべきだと力説しています。それは、彼らの能力と自信を新しいテクノロジーによって高めるための最善の方法なのです」と Si Hyeong 氏は語ります。「しかし、確かなサポートがなければイノベーションに集中することはできません。Red Hat コンサルティングはそれを確実に提供してくれます」

開発および運用コストを 60% 削減

新韓銀行の新しいプラットフォームと統合機能により、運用コストも 60% 削減されました。システムと運用インフラストラクチャのより効率的な管理およびスケーリングにより、海外子会社は独立した専用システムを運用する必要がなくなりました。

「Red Hat ソリューションのグローバルクラスタリング機能を使用すると、各国向けに FEP (フロントエンド・プランニング) プラットフォームをカスタム開発する必要がありません」と Gwang Joong 氏は語ります。「その結果、運用コストを最小限に抑える、より効率的なアーキテクチャが実現しました」

成功したアプローチとテクノロジーを新しいイノベーションに拡大

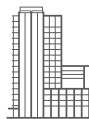
従来の開発手法をマイクロサービスベースのクラウドネイティブ・テクノロジー・プラットフォームと DevOps ベースの CI/CD アプローチに置き換えることで、新韓銀行は業界の規制に準拠しながら、より集中して優れた顧客体験の実現に取り組めるようになりました。

また、同行のチームが獲得したスキルと構築した機能は、将来的に同行のクラウドネイティブ・アーキテクチャを新たなプロジェクト (統合 API プラットフォームや、コンテナベースの仮想化を行わずにコンテナを直接使用するなどの取り組み) へと拡張していく可能性も開拓しました。

「当行のデジタル・トランスフォーメーションは、単なるテクノロジーのアップグレードではありませんでした。Red Hat と連携し、グローバルなコラボレーションによるアプローチとオープンソースのエクスペリエンスを強化しました」と Si Hyeong 氏は語ります。「その結果、韓国のお客様だけでなく、当行が網羅する 20 のマーケットすべてのお客様に、より優れた利便性やその他のメリットをもたらすことができるようになりました」

新韓銀行について

1897 年に設立された新韓銀行は、韓国で最も古い銀行です。代表的な銀行の 1 つで、現在韓国に 900 を超える支店を持ち、韓国の金融セクターの技術変革を先導してきました。20 カ国に所在する 163 のネットワークを通じて海外サービスをグローバルに拡大しています。



RED HAT について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、Fortune 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

0120 266 086
03 5798 8510

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052



fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat